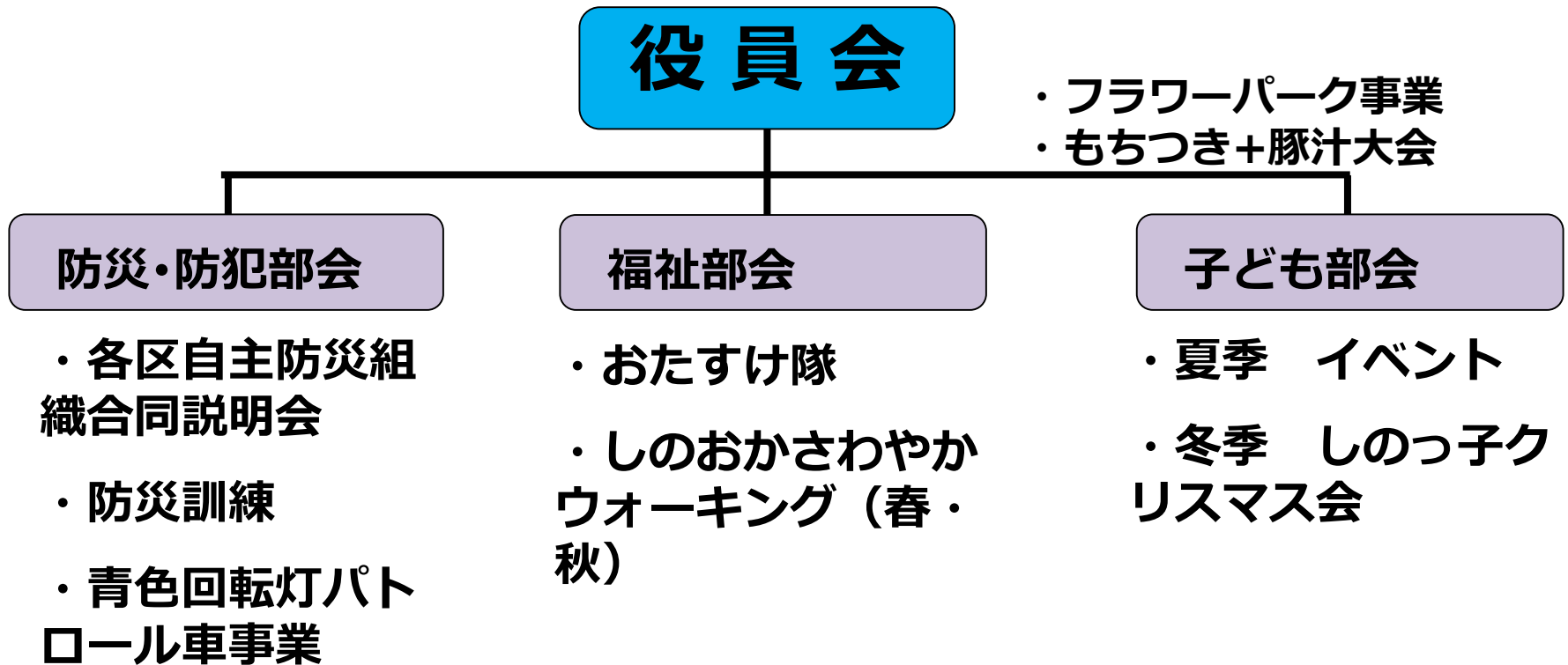


篠岡学区地域協議会の活動について



■ 篠岡小（3部会：約50名）



■ 設立は平成27年度

■ 『防犯防災部会』、『子ども部会』、『福祉部会』の3つの部会を設置し、区（自治会）よりも広域な小学校区単位で、様々な事業を実施

■ 一部の役員だけで運営するのではなく、自分たちが住む地域のために“できる人ができる時にできることをする”という趣旨に基づいて活動

◆他団体との関わり

	団体名	備考
1	区(篠岡 1~3丁目、池之内、林)	一体的に活動
2	小学校、中学校	施設利用、広報 中学生Sクルー (ボランティア)
3	農協、自主防災会、消防団 スポーツ振興会、PTA、おやじの会、 子ども会、学校コーディネーター、 民生・児童委員、福祉施設関係者	委員として参加

主に現役区長が役員（会長、副会長、事務局長など）として“顔役”を務め、実行部隊（部会長以下）を公募や区長OBが担うことで、地域が一丸となって取り組んでいる。

篠岡学区地域協議会



Home 防災防犯部会 福祉部会 子ども部会 篠岡学区地域協議会について

活動開始から7年目です！

防災防犯部会

(安全で安心な篠岡)

備えあれば憂いなし！
ご近所が仲良く、向こう
三軒両隣の助け合い



福祉部会

(高齢者も障害者も安心して
暮らせる町あしたも笑顔で)

しのおか おたすけ隊
〈支え合う・心豊かな・篠岡〉



子ども部会

しのお子
クリスマス



▶ お知らせ ◀

しのお子夏山謎解き登山に参加して下さった親子の皆様、
Sグループの皆さん、雨の中ご協力大変ありがとうございました!!
色々と不手際もあり申し訳ありませんでした。
今後とも楽しいイベントを企画しますので よろしくお願いします。



篠岡学区地域協議会の活動を各部会ごとに掲載している。これまでに行った活動も振り返ることができるようになっている。

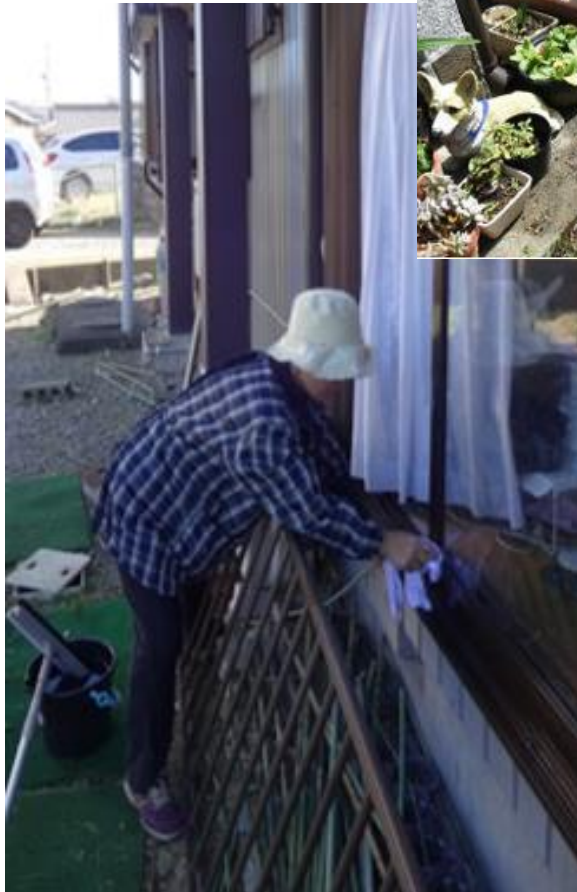
特徴的な取組み

〈青色回転灯パトロール車事業〉



令和元年8月の中学生まちづくりミーティングで児童生徒から通学路における安全確保・防犯対策に関する提言を受け、同年9月から防災防犯部会において通学路を中心とした学区の防犯活動に関する検討を始めた。

週1回、夕方～暗くなる時間帯に合わせ、パトロールを行っている。



篠岡学区在住の歳65歳以上の方を対象に、日常生活のちょっとした困りごと(草刈り、木の剪定、窓ふき等)を解決する活動を行っている。

【特徴的な取組み】おたすけ隊等の効果

(1) 依頼者からの感謝、 活動員の充実感

草取りや剪定など外での作業が多いのが現状。
大変きれいになり、依頼者から感謝の言葉が相
次ぎ、活動員としても充実感に溢れる。

(2) 地域活動の担い手 の発掘

おたすけ隊等を手伝ってもらい、そこから
地域協議会の活動に参加してもらうなど、新
たな地域活動の担い手の発掘につながってい
る。



【特徴的な取組み】 おたすけ隊等の課題

課題

- ・ 防犯パトロールやおたすけ隊のメンバーが高齢化している。50～60代の参加が少ない。
- ・ 参加者増につなげていく必要があるが、押し付けは避けたい。
- ・ 利用者が固定化しており、どう広げるか？
- ・ 対象となる作業をどう広げていくか？





ひまわりの苗植え 篠岡中学校中学生ボランティアの皆さん

住民のコミュニティ広場として、地域の絆づくりと明るいまちづくりのため、令和3年度設置した。



ヒマワリの苗を植える生徒や地域住民ら＝小牧市池之内のフラワーパークで

生徒らに贈った。以降、生徒会が中心となり育ててきた。

苗の移植には地元の小牧市池之内のフラワーパークが協力した。フラワーパークは昨年、同会が住民交流の場として整備した。篠岡中では移植に備えて六月上旬、二年生六十二人がポットに種を植え、約六百本の苗を用意した。

二十五日は一三年生約五十人と地域住民約二十人が参加し、スコップで土を掘り苗を植えていった。三年の広部航大さん(二)は「どんなことがあっても、ヒマワリのように上を向いて力強く生きていけるようにと思いを込めた」と話していた。

(水谷元海)

大震災・大川小ゆかりのヒマワリ

篠岡中生が苗植える

小牧のフラワーパークに600本

二〇一一年の東日本大震災の記憶を風化させないようにと、小牧市の篠岡中学校の生徒らが二十五日、地元の花苗センターに、被災した宮城県石巻市の大川小ゆかりのヒマワリの苗を植えた。

大川小では地震による津波で児童七十四人が死亡、行方不明となった。ヒマワリはわが子を亡くした母たちが、津波から逃れようと児童が目指した校舎近くの高台で育てた。

篠岡中では一七年に、仙台市の防災アドバイザー吉田田亮一さんを招いて防災教室を開いた。その際、吉田さんがこのヒマワリの種を

【特徴的な取組み】 フラワーパーク事業の効果

(1) 中学生ボランティアの協力

- 小中一貫校という地域の特性を活かし、篠岡中学校生徒のボランティア（Sクルー）に参加・協力してもらいながら行事運営をしています！
- これは篠岡小学校区独自のカラーであり、子どもから大人までの各世代が一緒になって地域で汗を流しています！

(2) 子どもたちの地域貢献に対する意識向上

- お父さん、お母さんをはじめとした地域の大人たちみんなが一致団結して頑張っている姿（背中）を見ることで、子どもたちにとって、ただ単に楽しいだけの行事ではなく、地域のつながりや地域貢献の大切さを学ぶことができる場にもなっている

(3) 地域愛の育み・地域コミュニティの形成

- 生まれ育った地域での記憶に残る行事によって、「篠岡に生まれてよかった!」、「この篠岡が大好きだ!」という地域愛を育む
- 世代や立場を超えた様々な人たちが、“子どもたちのために” という共通の目的に向かって一致団結することで、地域コミュニティの形成の一助となっている

課題

(1) 中学生より上の世代の参加

■ 篠岡中学校生徒のボランティア（Sクルー）には参加・協力いただいているが、高校生以上になると極端に参加が無くなってしまふ。何かよい方法はないか？

(2) 世代間の交流につながる事業

■ コロナ禍で、コロナ以前のような交流事業（イベント）の開催が難しくなっている。

交流事業（イベント）以外で、世代間の交流につながる事業はないか？

取組

- ・ フラワーパーク事業等で若い世代の参加につなげ、地域の支え合い活動に対する共感、次の世代の人材育成、世代交代への環境づくりをしていく。

篠岡学区では、少子高齢化で子どもの数が減って、高齢者が増えています。このような状況であっても、地域で暮らしている人が、安心して暮らせるよう活動を続けていきます。

ご清聴ありがとうございました